

平成25年度 田原西小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

- ・ 基本目標・・・児童一人一人の特性や能力を最大限に伸ばし、心身共に健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童を育成する。
- ・ 具体目標・・・子どもスローガン「いきいき にこにこ がんばる子」
- ・ 健康で明るい子 ・思いやりのある子 ・自ら考える子 ・がんばりぬく子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「元氣なあいさつの響く 教師も児童も生き生きとして 学び合う学校づくり」

子どものよりよい成長のためには、教職員、保護者・地域住民の関わりが重要であり、3つの視点からテーマを設定した。そして、日々の生活にあいさつが響き、明るく活気のある学校、子ども一人ひとりが生き生きと学び、子どもが育つ学校、楽しく安心して生活でき、保護者・地域住民から信頼される学校づくりを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線をつける。

- （1）21世紀に生きる心豊かな人間を目指し、その基盤となる資質や学力の向上に努める。
- （2）教育者としての使命を自覚し、絶えず自己研修に努め、愛情と信頼、創意と工夫による生き生きとした教育活動の推進に努める。
- （3）社会的規範の中で、基本的な生活習慣や健康で安全な生活を身につけ、自ら律していける能力をもった児童の育成に努める。
- （4）「うつのみやいきいき学校プラン」の理念や趣旨をふまえ、明るく活気にあふれる教育活動を実践し、心豊かな児童の育成と好ましい校風づくりに努める。
- （5）開かれた学校づくりを目指し、家庭や地域社会との連携・融合を図り、相互に補完し合いながら地域に根ざした教育活動の推進に努める。
- （6）施設・設備の効果的な活用に努め、学習に働きかける環境構成のより一層の充実を図るとともに、安全な学校を目指し、危機管理を徹底する。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線をつける。

- （1）学校運営
元氣なあいさつの響く 教師も児童も生き生きとして 学び合う学校づくり
- （2）学習指導
学ぶ喜びを知り、自ら考える子の育成を目指した学習指導法の改善
- （3）道徳教育（児童生徒指導）
元気に生き生きと生活し、進んで明るいあいさつができ、思いやりをもって行動できる児童の育成
- （4）健康（保健安全・食育）・体力
自分の体に関心をもち、進んで健康づくりに取り組む児童の育成

5 自己評価（A は共通評価指標、B は学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、**A 拡充** **B 継続** **C 縮小・廃止**、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 一人一人の児童が学級で存在感を実感できるような学級経営、児童の建設的な自己決定ができるグループ作りに努める。		【達成状況】 ⇒+7.6ポイント 学校経営において中核となる発問である。概ね良好である。 【次年度の方針】 引き続き、児童一人一人の状況を把握、サポートし明るい気持ちで楽しく学校生活が送れるよう努力する。
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「先生は熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 毎時間の指導内容を明確にし、「わかる授業」の展開をめざして指導方法の工夫や教材研究に努める。 ② 一人一人の教職員が参画意識をもち、協力し合いながら日々の教育にあたる。		【達成状況】 ⇒+16.2ポイント 概ね達成である。昨年度より+2.6ポイントとなり、若干児童に教師の姿勢が伝わった形である。 【次年度の方針】 教師の気持ちが児童に伝わるよう、引き続き努力していく。
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業と生活の決まりやマナーを守って生活している。」⇒教職員の肯定的回答80%以上	① 児童指導の共通理解を図り、善悪の判断や規律ある生活等について指導する。 ② 安全点検を定期的に実施し、児童が安全に生活できるように努める。		【達成状況】 ⇒-19.1ポイント 昨年度と比べ-11.8ポイント、今年度保護者との差は14.4ポイントで、いずれも教職員は悲観的である。 【次年度の方針】 児童の学校での状況を正しく認識し、学校と保護者で連携して対応にあたっていく。
	A4 教職員は分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「分かりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答80%以上	① O T Tによる指導や少人数による習熟度別学習の充実を柱に、国語・算数の基礎・基本の定着に努める。		【達成状況】 ⇒+12.1ポイント 昨年度と比べても+2.6ポイントとなっており、良好な状況である。 【次年度の方針】 引き続き児童の学力向上を目指し、意欲的に指導を進めていく。
	A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている。」⇒保護者・教職員の肯定的回答80%以上	① 学校行事等について、教職員に反省等のアンケートを行い、改善点について検討し次年度に生かす。		【達成状況】 ⇒教職員は+20ポイント、保護者は+17.5ポイントで達成状況は良好である。 【次年度の方針】 今後も教務主任を中心に、さらに実態に合致した教育課程の編成を目指していく。

学 校 運 営 の 状 況	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 年3回の授業参観や年2回の学校公開日を設ける他に、音楽集会への自由参観等、開かれた学校づくりに努める。 ② 学校便り、学年便り、その他各種便りを積極的に発行し、保護者や地域協議会の方に取組を知らせる。	【達成状況】 ⇒+15.5ポイント、昨年度よりも+2.8ポイントとなっており良好である。ホームページの更新も定期的に行われたことも理解を得られた一因と思われる。 【次年度の方針】 今後も、学校での児童の活動状況、教師の指導状況を広く周知できるよう努めていく。
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上	① 「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用し、学校運営の充実を図る。	【達成状況】 ⇒保護者は+6.4ポイント、地域住民は+20ポイントである。目標値は達成している。地域協議会主催で挨拶運動を展開したり、図書室のカーテンを新しく作っていただいたりと、新しい活動も行うことができた。 【次年度の方針】 今後も地域コーディネーターと連携し、地域の協力を得ていきたい。
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者の肯定的回答80%以上	① 縦割り清掃の推進や校内緑化の充実を図り、自ら進んで学校をきれいにする態度を養う。 ② 児童に机やロッカーの整理整頓を指導し理解させ、学習環境を整える。	【達成状況】 ⇒+17.1ポイント。教職員以外は昨年度より良い結果となっている。 【次年度の方針】 今後も児童に環境整備の大切さを考えさせながら環境を整えていきたい。
教 育 活 動 の 状 況	B1 危機管理への対応に努め児童の安全を確保する。 【数値指標】 独自アンケート「学校は避難訓練・防犯指導を通して、危機管理への対応に努めている。」保護者・地域住民の肯定的回答80%以上	① 避難訓練・不審者対応の訓練（年4回）・防犯指導を通して、児童が危機認識をもち、安全に退避できる態度を育てる。	【達成状況】 ⇒+10.6ポイント。昨年と比べ横ばいである。1月には、本校では初めての緊急時児童引渡し訓練を実施した。 【次年度の方針】 災害についての児童の意識を常に高められるよう、教職員で取り組んでいく。
	A9 児童は進んであいさつをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒保護者・教職員の肯定的回答80%以上	① ○児童のあいさつ運動の実施や、登下校時に、教職員、保護者、地域の方が連携を図ったあいさつ運動を推進するなど機運を高めていく。	【達成状況】 ⇒保護者は-35.9ポイント。教職員は-47.8ポイント。大変憂慮している項目である。 【次年度の方針】 児童の実態をもう一度確認し、有効な対策を考えていきたい。

健康・体力	A10 児童は正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉遣いをしている」⇒保護者・教職員の肯定的回答80%以上	① 毎日の授業の中で、時と場に応じた適切な言葉遣いを意識的に指導していく。 ② 家庭での望ましい言葉遣いについて保護者と協力して指導していく。	【達成状況】 ⇒保護者は-36.4ポイント。教職員は-36.5ポイント。この項目も数値目標を大きく下回っている。 【次年度の方針】 言葉遣いについても、挨拶同様、実態をきちんと把握し、対策について保護者とも連携し考えていきたい。
	B2 全校児童が仲良く元気に生活する。 【数値指標】 独自アンケートの「自分は、休み時間に友達と元気にあそんでいる」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 朝の時間や休み時間に仲良く元気に校庭で遊べるよう、クラスで遊びを工夫する。	【達成状況】 ⇒+12ポイントで良好である。 【次年度の方針】 昨年度よりも、若干上がっており、今後とも良好な状況が継続するよう支援していく。
	A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 各学級で休み時間の外遊びを推奨し、児童の意識を喚起する。	【達成状況】 ⇒+6.1ポイント。昨年度とほぼ同じである。 【次年度の方針】 遊びながら基礎体力がついていくよう、児童と教師が話し合っていきたい。
	A12 児童は栄養のバランスを考えて食事をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分は、好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 給食だより・保健だより等の発行をとおして、食育の大切さ・健康の大切さを児童や保護者に啓発すると同時に、適切な給食指導を行う。	【達成状況】 ⇒-12.7ポイント。児童と保護者は課題があると感じており、教職員と地域住民は問題と感じていない項目である。 【次年度の方針】 食べ物への好き嫌いについて、児童には栄養バランスと成長、健康増進の観点から指導していきたい。
	B3 体力づくりをすすめる。 【数値指標】 独自アンケートの「自分は運動会や持久走大会、水泳や縄跳び検定に進んで取り組んでいる」⇒児童の肯定的回答80%以上	① 体力テストの結果を踏まえ、体育的行事のための長期練習や水泳、なわとび等の各種検定を通して、進んで運動に取り組む態度を養う。	【達成状況】 ⇒+9.6ポイント。概ね良好である。 体力テストの結果も1年6年のシャトルランなどを中心に好成績を収めた。 【次年度の方針】 行事としての取組は、児童の意識が高まるよう計画の段階でさらに工夫していく。

学 習	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 発達段階に応じ、授業中における話し合い活動の場を多くして、コミュニケーション能力の伸長を図る。	【達成状況】 ⇒-1.7ポイント。授業中の児童の積極性に関しては、まだ頑張る余地があると感じているようである。 【次年度の方針】 児童の意識向上が図れるよう、工夫していく。
	A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①〇地域学校園で取り組む基本的な学習態度の育成について、各学級での指導を徹底していく。	【達成状況】 ⇒-10.4ポイント。授業の落ち着きに関しては、もっと努力が必要と感じているようである。 【次年度の方針】 児童の意識が高まるよう、児童へも働きかけていく。
	B4 読書が好きな心豊かな児童の育成に努める。 【数値指標】 独自アンケート「自分は本を読むことが好きである」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 週1回の朝の読み聞かせ・週2回の朝の読書や図書館の活用を通して、読書指導や言語環境の充実を図る。	【達成状況】 ⇒+2.5ポイント。昨年より若干上がり、数値目標を達成した。 【次年度の方針】 興味の薄い児童にも、本に関心がもてるよう朝の読書の時間などを利用して促していく。
確 かな 学 力 の 向 上	B5 わかる、できる、楽しい授業の工夫・ゆめチャレンジ学習の実践に努める 【数値指標】 独自アンケート「自分は、ボランティアティーチャーや地域の人といっしょに、楽しく学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 街の先生（地域人材）、企業の人材と連携した教育活動の実践を行う。	【達成状況】 ⇒+5.5ポイント。昨年よりも若干良く、概ね達成である。 【次年度の方針】 引き続きボランティアの方々と連携し児童により良い活動を提供していきたい。
心 の 教 育 の 推 進	B6 心の教育の充実を図る 【数値指標】 独自アンケート「自分はクラスの友達に優しく親切にしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 道徳教育や異学年交流、飼育栽培活動などをおして、心の教育を推進する。	【達成状況】 ⇒+9.1ポイント。昨年よりも5ポイント近く良く、概ね達成である。 【次年度の方針】 児童の優しい気持ちを、さらに育んでいきたい。

〔総合的な評価〕

- ・ A 1「学校全体に活気があり、明るくいきいきした雰囲気である。」については、学校運営の中核的な発問である。児童の肯定的な割合は 87.6%と概ね良好であるが、肯定的でない 10%以上の児童について、学級での状況をよく把握し支援していく必要がある。
- ・ 学習指導については教師の指導について「熱心さ(A 2)・きめ細かさ(A 4)」について 90%以上の児童は評価している。保護者の方がやや低くなっており、学校での指導について保護者にさらに発信していく必要があると思われる。
- ・ 体力の増進については、成果が上がっている学年も多い。この流れを全体に広めていきたい。また、食事の好き嫌いの問題は、栄養のバランスによる健康の増進や身体の成長など学校で指導できる面から取り組んでいきたい。
- ・ 時と場に応じた「挨拶(A 9)と言葉遣い(A 10)」は、本校の大きな課題である。今年度は地域にも働きかけ、挨拶運動を展開するなど取り組んできたが、次年度に向けても家庭・地域・学校連携の下、工夫して指導にあたっていきたい。

6 学校関係者評価（地域協議会等）

- ・ 挨拶についての問題は昨年度に引き続いての課題となっているが、今年度は地域協議会主催で2度の挨拶週間を設け実施して成果を上げた。大人から挨拶すれば挨拶を返せる児童が次第に増えるという実態があった。今後は「地域として、学校として、家庭として」何ができるか整理して取り組んでいく必要があるのではないかと感じている。
- ・ 学校で地域向けに参加を呼び掛けている行事は「ふれあいコンサート」などいくつかあるが、保護者や地域の参加者が少なく、PR不足を感じる。また、様々な行事については、人の呼べる曜日や時間を選んでいく必要もあるのではないかと感じている。さらに、保護者も、学校でどのようなことをどのようなシステムで行っているか知らない方が多いという現状も感じている。
- ・ 朝読ボランティアを含め、様々なボランティア活動への参加を呼び掛けていきたい。
- ・ 26年度は20周年の記念行事が控えており、実行委員の組織は固まった。地域協議会の協力が必須となってくるので協力していきたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- ・ 「自分は今の学校が好きである」の発問に対し児童全員が肯定的回答ができるよう、引き続き児童一人一人の状況を把握、サポートし、明るい気持ちで楽しく学校生活が送れるよう学校として最大限の努力をする。
- ・ 児童の挨拶については、地域協議会でのご意見を参考に、「地域として、学校として、家庭として」何ができるか整理して取り組んでいく必要がある。まず学校としてできることを整理し具体的な方策を考えていきたい。
- ・ 26年度の20周年記念行事の実施に向け、地域協議会を含め、保護者や地域の方々に十分な周知をし、地域と学校が一致団結した形での盛り上げを作り上げていきたい。